

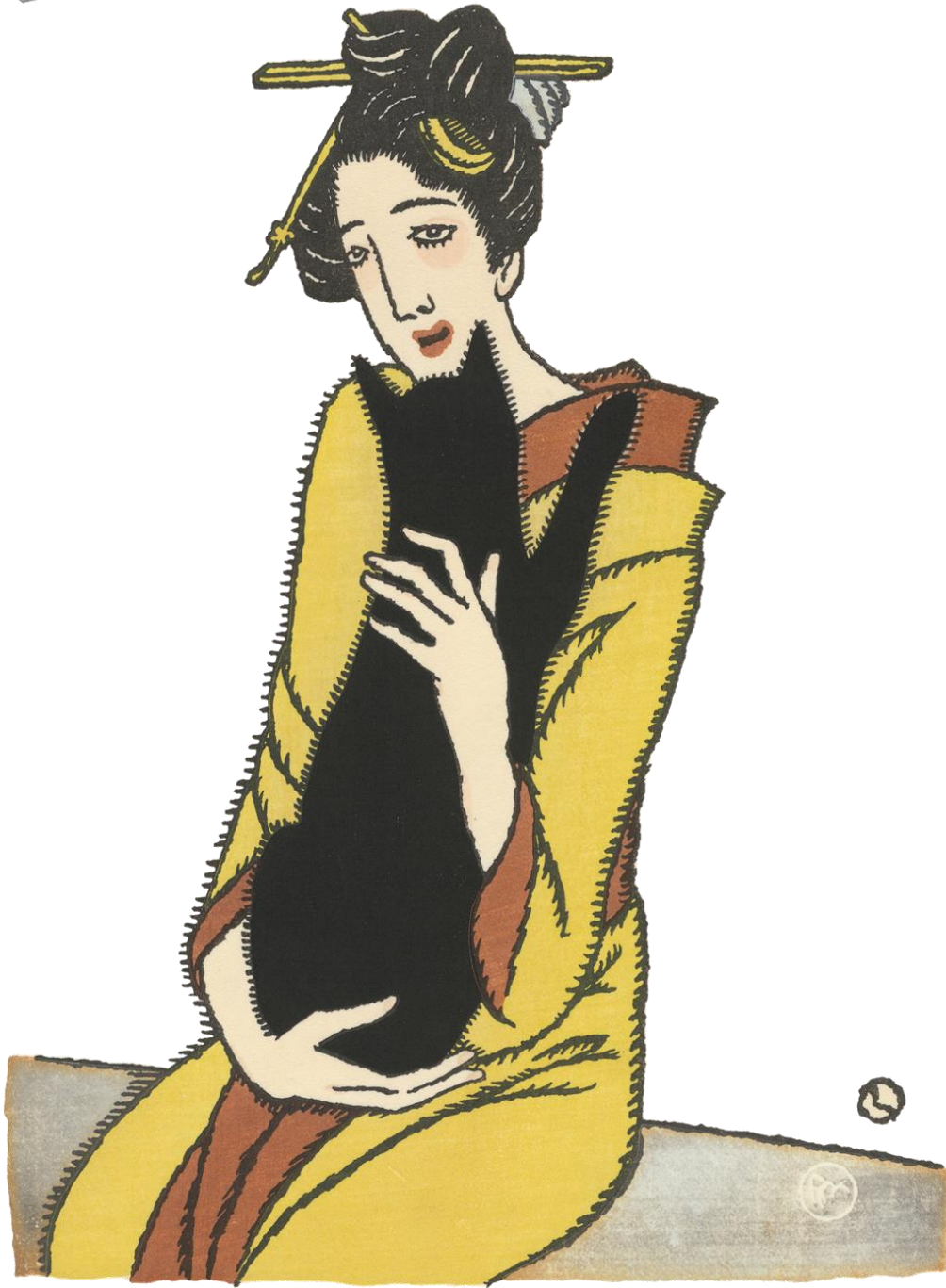
竹久夢二美術館 企画展プレスリリース

2024年7月～9月



生誕140年記念

TAKEHISA ✦ YUMEJI



①黒猫を抱く女 1920年(大正9) ◎新収蔵作品◎

黒猫を抱く女性を夢二は繰り返し描いたが、本作は猫や女性の着物の輪郭にギザギザの線を用いている。夢二は英国の挿絵画家オーブリー・ビアズリーの作品にこの技巧を発見し、ビアズリーが浮世絵を好んだことからその技巧を取り入れたと推測した。夢二も生地や毛並みの触感を表現するため、ぼかしの代用として実践している。



竹久夢二の軌跡



2024年
7月6日 SAT
9月22日 SUN

前期 7月6日～8月12日
後期 8月14日～9月22日

竹久夢二美術館

ごあいさつ

大正ロマンの画家・詩人として知られる竹久夢二(1884-1934)は、「夢二式美人」と呼ばれる女性像を描き、大正時代を中心に圧倒的な人気を集めました。夢二の独創性あふれる作品には、日常生活に溶け込む美や、女性や子供をはじめとする大衆への共感があらわれ、時を越えて見る者を惹きつけます。和と洋が混ざり合い、近代社会へと急激に変化する時代に、夢二は生涯をかけて自身の理想の美を追求しました。

夢二の生誕 140 年を記念する本展は、明治末期のデビューから昭和初期までの約 30 年に及ぶ夢二の画業と人物を、新収蔵を含む約 250 点の所蔵作品と資料で紹介します。多くのジャンルで先駆的な作品を残した夢二の活躍をご覧ください。

竹久夢二

明治 17 年 - 昭和 9 年 (1884-1934)



岡山県出身の画家・詩人。雑誌投稿から明治 38 年(1905)末にデビューし、コマ絵や挿絵を数多く描き、センチメンタルな夢二式美人画を生み出した。画壇に属さず、日本画・水彩・木版画等で日本の郷愁と西欧のモダニズムを自在に表現した。また、詩や童謡も創作し、グラフィック・デザイナーの先駆けとしても活躍した。



アール・ヌーヴォー調の動植物が描かれた図案は、半襟に刺繍をする目的で婦人雑誌の付録になった。夢二は、雑誌を通じて小さな工夫で趣味よい暮らしができるデザインを発信した。

⑥手製半襟の図案
1915 年(大正 4)



古今東西の歌曲を紹介したセノオ楽譜に、夢二は約 280 の表紙絵を提供した。同シリーズでは、大正時代の流行歌「宵待草」を含む、夢二の 24 篇の詩に曲が付けられ、出版された。

⑦セノオ楽譜「宵待草」
1920 年(大正 9)



夢二は数多の経験をもとに、自身の恋愛観・女性観を『恋愛秘語』に著した。文と挿絵の他、生涯に 300 冊以上の装幀を手がけた夢二の、本づくりのセンスが書籍の各所に発揮されている。

⑧『恋愛秘語』
1924 年(大正 13)



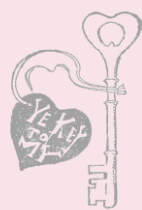
関東大震災後の大正末期～昭和初期には、大衆消費社会の到来により、商業美術の分野が大きく発展した。ポスターの斬新な色遣いや構成、文字装飾は、今日のデザイナーの先駆けといえるだろう。

⑨「難による展覧会」ポスター
1930 年(昭和 5)

みどころ 1 多彩なジャンルの仕事を時系列で展示し画業の変遷と夢二の生涯を紹介

2 夢二が美を追求した暮らしを彩る数々の作品を紹介

展示構成



◆ 「夢二式」の広まり

- 画家人生の幕開け ★
- 郷愁と子供達の世界
- 木版と意匠の美
- 描くよろこび(スケッチ)★

◆ 恋、制作、生活

- 京都移住期の制作
- ブックデザインの世界 ★
- 歌曲を表す
- 趣味よい暮らしのために
- 久遠の女性を探して

◆ 関東大震災とモダン文化の表現

- 震災と転機
- 雑誌『婦人グラフ』に見るモダンライフ ★
- グラフィックデザインの開拓者
- 雑誌の個性を描く ★
- 外遊から晩年の画業

★のコーナーは前後期で展示替えあり(総数約 60 点)

広報図版紹介



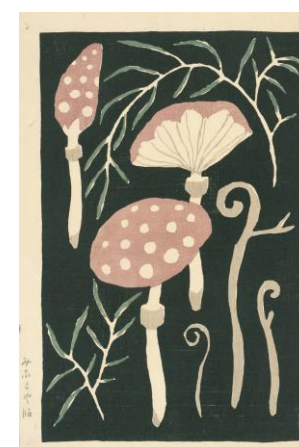
②『夢二画集 春の巻』扉絵
1909 年(明治 42)

夢二初の画集『夢二画集 春の巻』の扉には、元妻の他万喜をモデルとした大きな瞳の女性像が見られる。夢二の描く女性像「夢二式美人」は、明治末期から大正期に社会現象となる程に人気を博した。



③かげやとうろくじん
1912 年(大正元)

子供を対象とした絵画作品に加え、夢二は童話や詩も創作した。さらに、古くから伝わるわらべ歌に関心を寄せて収集し、著作にもまとめている。



④千代紙 きのご
1914~15 年(大正 3~4)

1914 年、夢二は自身がデザインした商品を扱う「港屋絵草紙店」を日本橋に開店した。夢二の図案が日用品をおしゃれに彩り、店舗は女性客を中心に賑わった。



⑤夏姿 1915 年(大正 4)頃

広報図版をご使用希望の場合は、「画像使用申込書」に必要事項を記載の上、FAX またはメールで当館にお送りください。

23 歳で病没した、夢二の最愛の恋人・笠井彦乃をモデルに描かれた。当館が建つ本郷と上野界隈は、二人の逢瀬の舞台となり、ゆかりのある場所が点在している。

展覧会概要

展覧会名称

生誕 140 年記念 竹久夢二の軌跡

主催及び会場

竹久夢二美術館

住所

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-2

Tel

03-5689-0462

会期

2024 (令和6) 年 7月6日(土)~9月22日(日)

休館日

月曜日(7月15日、8月12日、9月16日(月・祝)開館)、7月16日、8月13日、9月17日(火)。

開館時間

午前 10 時~午後 5 時

(入館は 4 時半までをお願いします)

入館料

一般 1000円 大・高生 900円

中・小生 500円

※弥生美術館と二館併せてご覧頂けます。

交通

東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び
南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩 7 分
JR上野駅 公園口より徒歩 20 分



ホームページ

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

担当学芸員による

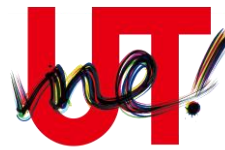
ギャラリートーク開催

7/20(土)・8/18(日)・9/16(月・祝)午後 2 時より



⑩ 展覧会チラシ

オリジナルデザインで



Ever wanted to make a one-of-a-kind T-shirt?
All you need is a smartphone and some
inspiration. Just draw a picture, take a photo,
and shake your phone. Before you know it,
you'll be styling an original UT design.



夢二を楽しもう

店頭専用端末を使い、Tシャツ、トートバッグ、スウェット等に当館作品をお客様がデザインし、その場でプリントできるサービスが6/7(金)より開始しました。

ユニクロ UTme! x
竹久夢二美術館
取扱店

・浅草店
・御徒町店
・ヨドバシ Akiba 店

★販売状況は各店舗にお問い合わせ下さい。

竹久夢二美術館

平成2年(1990)開館。都内で夢二作品を鑑賞できる唯一の美術館です。館が建つ東京・本郷は、夢二が滞在了した「菊富士ホテル」がかつてあり、また最愛の女性、笠井彦乃と逢瀬を重ねた場所で、今なお昔の風情を留めて静けさと木々の緑に包まれています。当館では約3300点の所蔵作品より、年4回様々なテーマで企画展示を実施しています。



展覧会についてのお問い合わせは

竹久夢二美術館 学芸員 徳重美佳

までお願いいたします。

tel 03-5689-0462 fax 03-3812-0699

FAX 03-3812-0699

竹久夢二美術館 徳重 行

生誕 140 年記念

竹久夢二の軌跡



画像使用申込書

画像送付日 月 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望の図版番号に○をしてください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する	希望しない
-------------------	------	-------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールで画像データをお送りいたします。
ご希望の場合は、この申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお送りください。また美術館写真（外観／展示室）等を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名様分）をご用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 竹久夢二美術館 担当 徳重宛